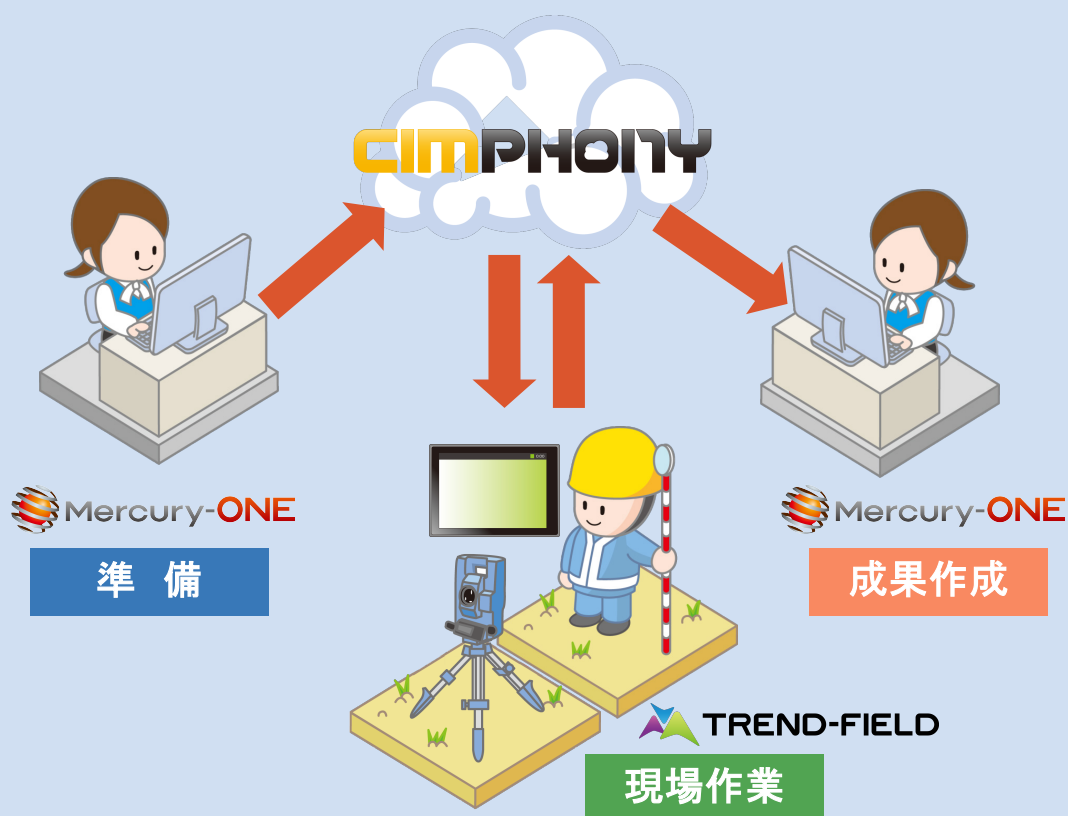


# 用地支援



用地支援の操作を  
簡単なサンプルを用いて  
解説します。

※解説内容がオプションプログラムの  
説明である場合があります。  
ご了承ください。

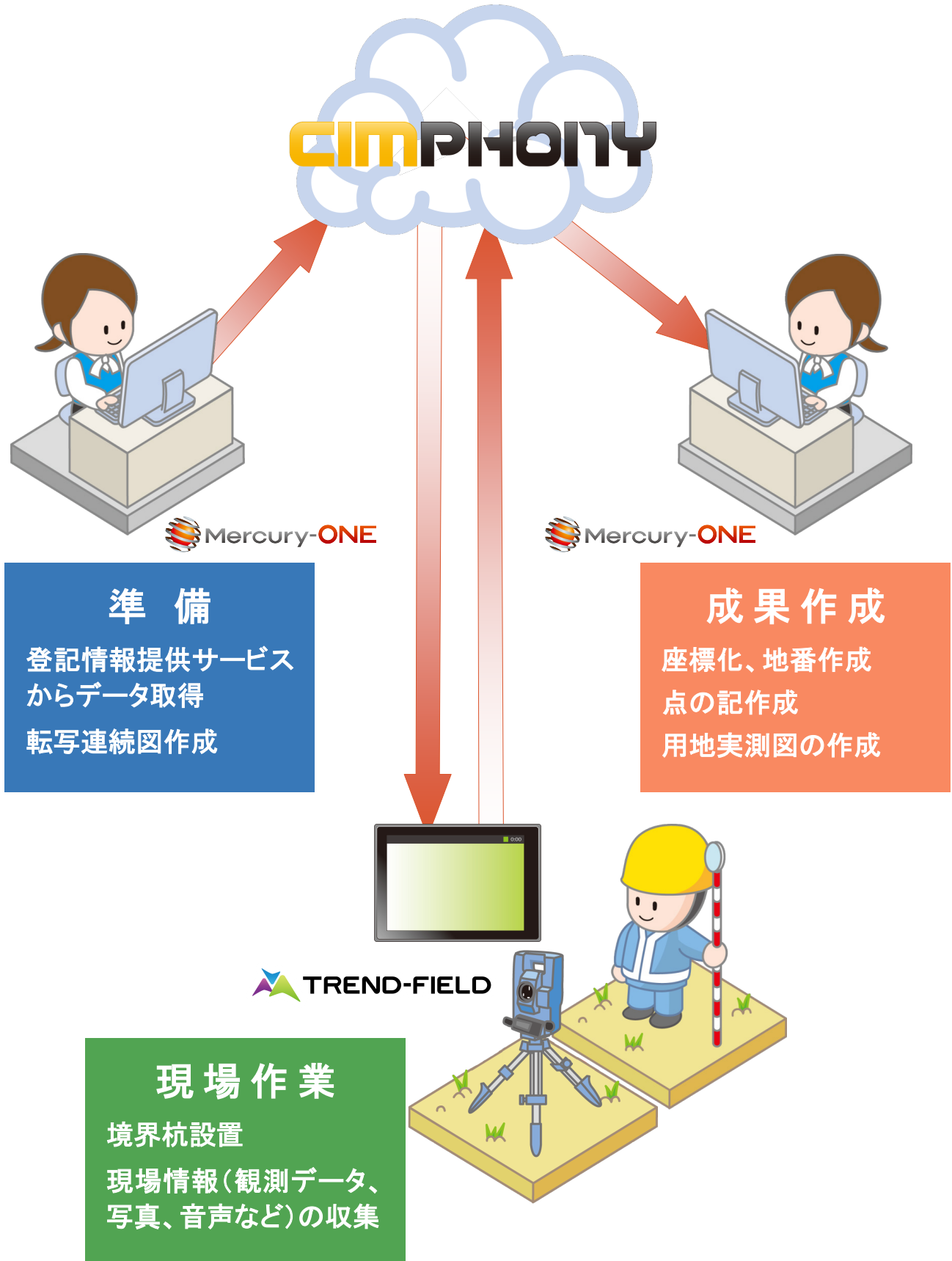


## 用地支援

1. 用地支援の流れ	1
2. 準備	2
2-1 登記情報提供サービスからデータを取得する	2
2-2 転写連続図を作成する	4
2-3 データを保存する	9
2-4 ONE と CIMPHONY を連携する	10
3. 現場作業	12
3-1 TREND-FIELD と CIMPHONY を連携する	13
3-2 境界杭を設置する	15
3-3 境界杭を観測する	17
3-4 写真を撮影する	19
3-5 音声を録音する	20
3-6 メモ書きを入力する	21
3-7 他の境界杭設置・観測する	22
3-8 データを保存する	23
3-9 TREND-FIELD と CIMPHONY のデータを同期する	24
4. 成果作成	26
4-1 CIMPHONY から TREND-FIELD の観測データを取り込む	27
4-2 トラバース計算をする	29
4-3 座標を登録する	31
4-4 データを保存する	32
4-5 CAD と CIMPHONY のデータを同期する	33
4-6 地番を作成する	34
4-7 点の記を作成する	36
4-8 用地実測図を作成する	38

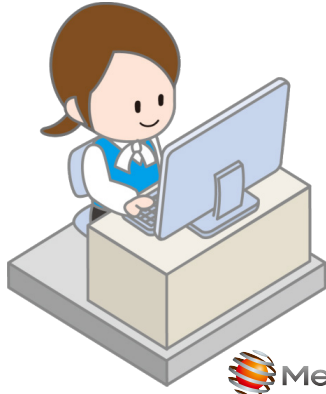
# 1 用地支援の流れ

本書では、以下の流れで用地支援の操作を解説します。



# 2 準備

ONE で準備を行います。



Mercury-ONE

## 準備

登記情報提供サービス  
からデータ取得  
転写連続図作成

### 2-1 登記情報提供サービスからデータを取得する

登記情報提供サービスのデータ(PDF)から登記情報を取り込みます。

**注意**

登記情報提供サービス取込み(土地)はオプションプログラムです。

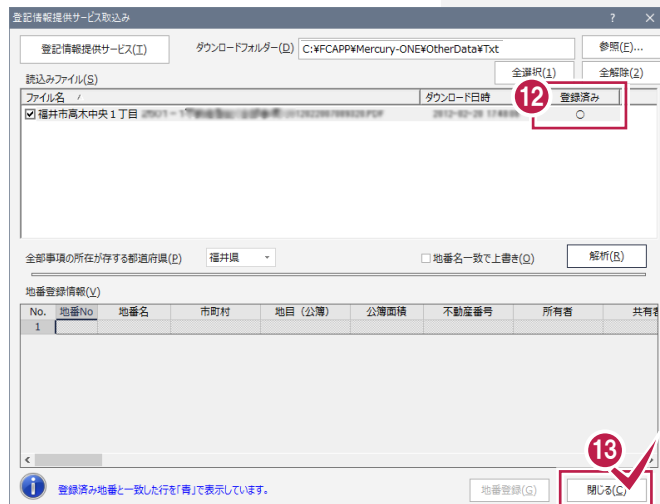
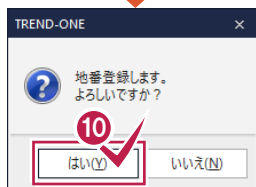
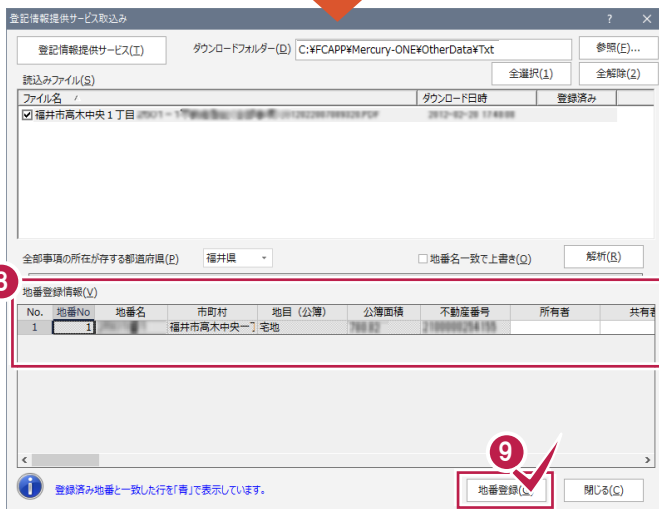
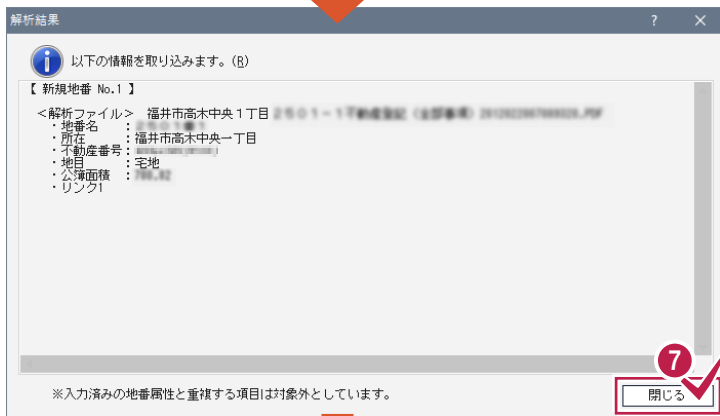
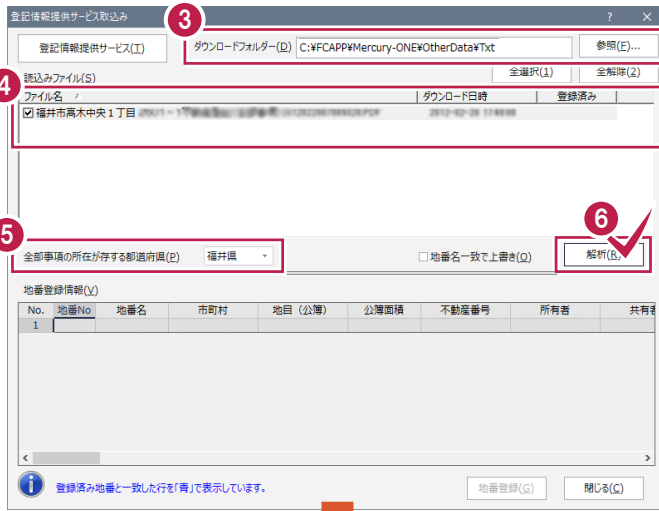


**1** [作業の選択]タブ-[メイン]グループ-[地番管理]をクリックします。



**2** [データ書込み]グループ-[登記情報サービス]をクリックします。





- 3 登記情報提供サービスのデータ (PDF) が保存されているフォルダを設定します。
- 4 読み込むファイルのチェックをオンにします。
- 5 全部事項の所在が存する都道府県を選択します。
- 6 [解析] をクリックします。
- 7 解析された情報を確認して、[閉じる] をクリックします。
- 8 取り込まれる地番登録情報を確認します。
- 9 [地番登録] をクリックします。
- 10 [はい] をクリックします。
- 11 [OK] をクリックします。
- 12 [登録済み] に「○」と表示されていることを確認します。
- 13 [閉じる] をクリックします。

## 2-2 転写連続図を作成する

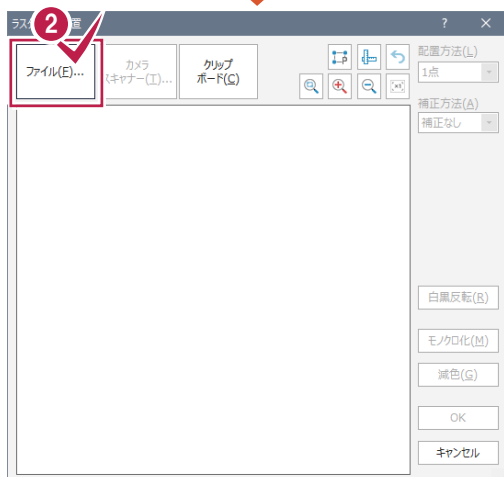
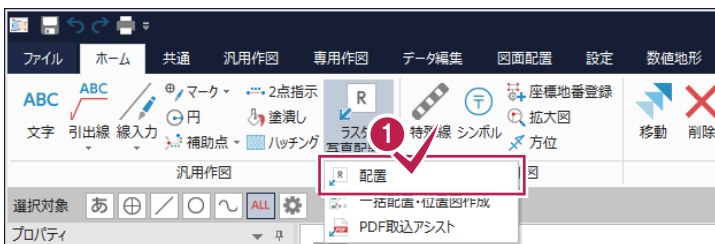
[CAD]で公図(ラスタ)を配置して、転写連続図を作成します。

### [CAD]の作業データを新規作成する

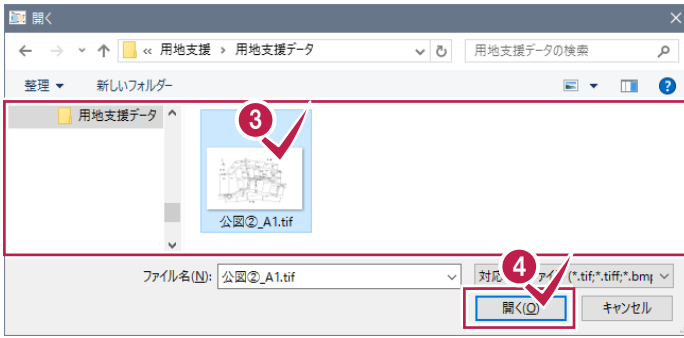


- 1 [メイン]グループ-[現場]をクリックします。
- 2 [アプリケーション]グループ-[CAD]をクリックします。
- 3 [新規作成]をクリックします。

### 公図(ラスタ)を配置する

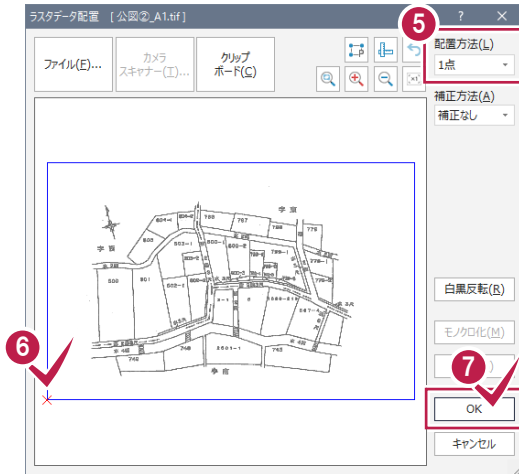


- 1 [ホーム]タブ-[汎用作図]グループ-[ラスタ・写真配置]-[配置]をクリックします。
- 2 [ファイル]をクリックします。



3 配置する公図(ラスタ)を選択します。

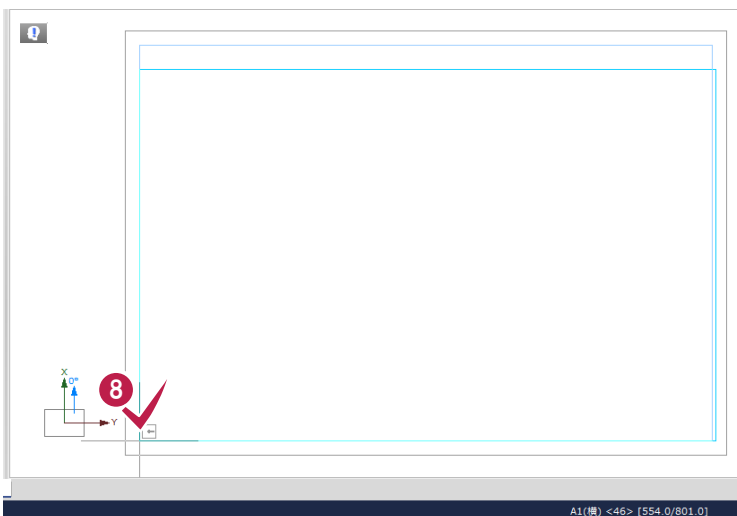
4 [開く]をクリックします。



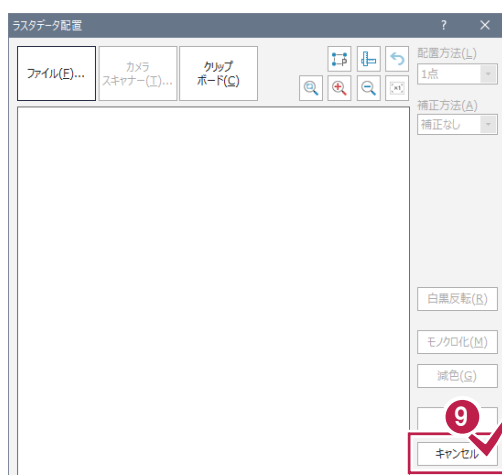
5 配置方法を選択します。

6 基準点をクリックします。

7 [OK]をクリックします。



8 配置基準点をクリックします。



9 [キャンセル]をクリックします。

## 転写連続図に用地情報を配置する



- 1 [専用作用]タブをクリックします。
- 2 [測量]グループ-[用地支援]をクリックします。



- 3 [転写連続図に用地情報配置]をクリックします。



- 4 地番の抽出条件を設定します。
- 5 [抽出実行]をクリックします。





抽出した地番が表示されます。



選択した地番の地番情報が表示されます。

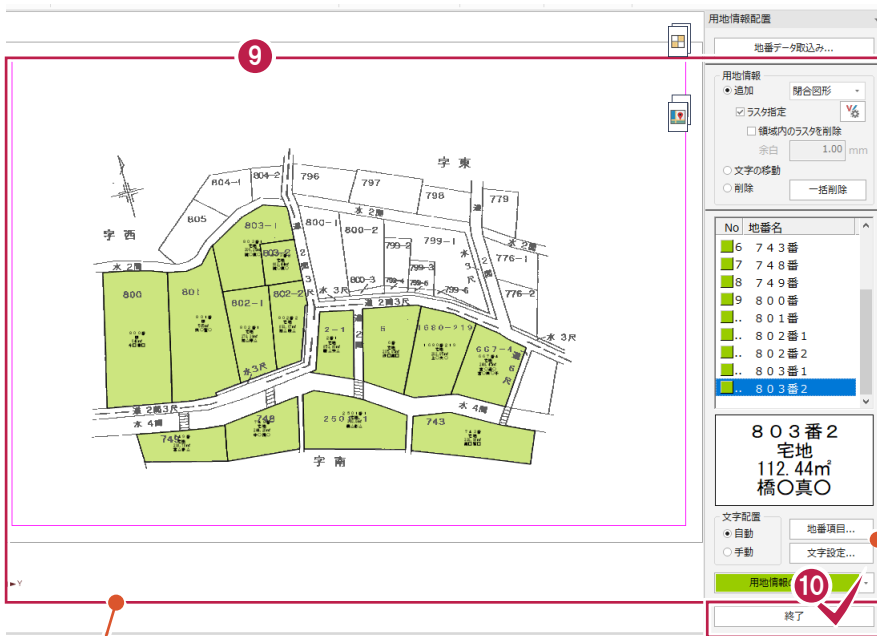


指定した閉合図形に地番情報が追加されて表示されます。

- 6 [追加]を選択します。  
ここでは、閉合図形のラスタを指定するので、「閉合図形」を選択して、「ラスタ指定」のチェックをオンにします。
- 7 地番情報を追加する地番を選択します。
- 8 地番情報を追加する閉合図形をクリックします。

**注意** [ラスタ指定]で、ラスタの閉合領域を自動的に取得するには、ラスタベクタ個別変換オプションが必要です。

**注意** モノクロラスタのみ対象です。カラーラスタはモノクロ化が必要です。



9 同様に⑦⑧の操作を繰り返して他の閉合図形にも地番情報を追加します。

10 地番情報の追加が完了したら、[終了]をクリックします。

ここで配置した地番形状と地番情報を使って、用地登録を自動化することができます。(用地登録については、「4成果作成」-「4-6地番を作成する」(P.34)を参照してください。)

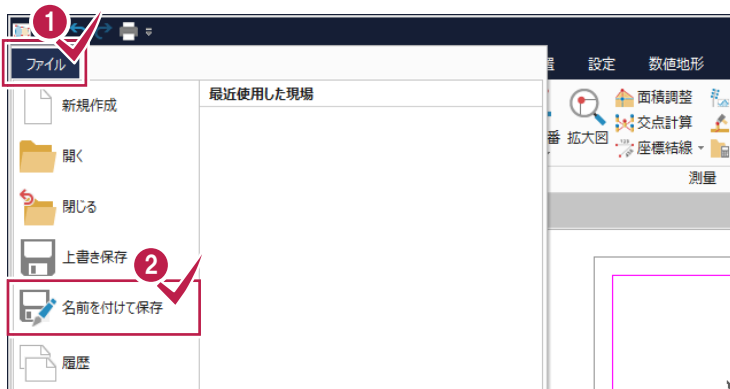
[地番項目][文字設定]で、配置できる地番情報の順番や間隔、並び(縦横)、文字サイズや引き出し線のサイズ、種類などの設定が可能です。



11 次の手順を確認して[終了]をクリックします。

## 2-3 データを保存する

データを保存します。



- 1 [ファイル]タブをクリックします。
- 2 [名前を付けて保存]をクリックします。

- 3 保存する工区を指定します。
- 4 現場名を入力します。
- 5 [保存]をクリックします。

- 6 [OK]をクリックします。

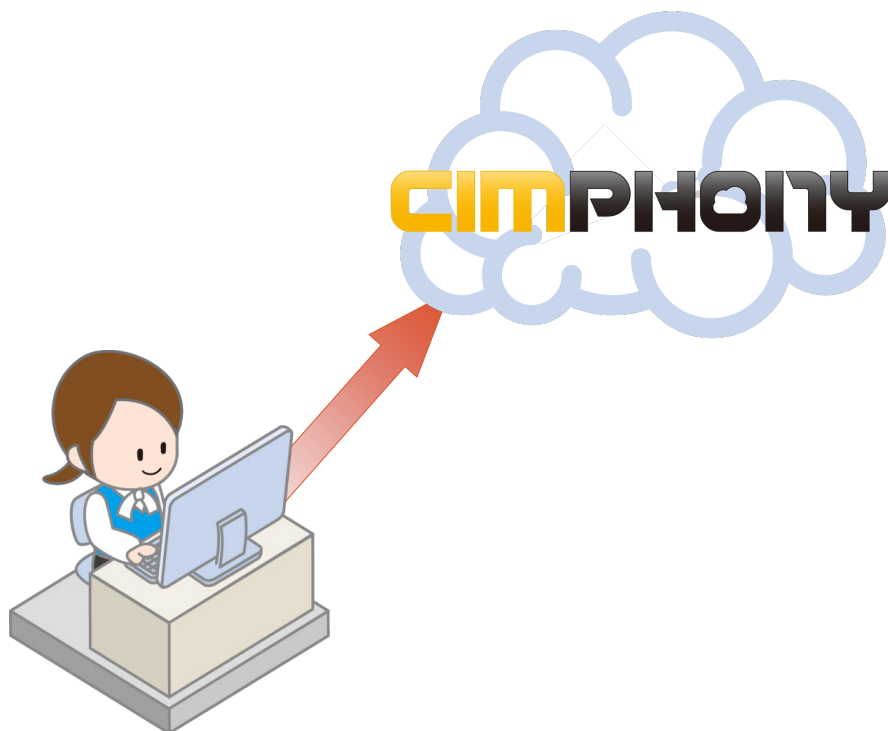
## 2-4 ONE と CIMPHONY を連携する

ONE と CIMPHONY を連携します。



Check

CIMPHONYを使用するときは、[共通]タブ-[設定]グループ-[CIMPHONY設定]-[アクセス設定]をおこなってください。



- 1 [共通]タブをクリックします。
- 2 [連携]グループ-[CIMPHONY]-[同期]をクリックします。



- 3 [新規現場追加]をクリックします。
- 4 [次へ]をクリックします。

同期 ? ×

**5** 現場データの情報

現場名(S): 用地支援サンプル

依頼者/発注者名(D):

担当者(A):

**6** 作業データの情報

作業データ名(W): CAD1

登録者名:

< 戻る(B) **7** 次へ(N) キャンセル



同期 ? ×

**i** 下記のデータの同期を行います。

**現場データの情報**

現場名: 用地支援サンプル

依頼者/発注者名:

担当者:

**作業データの情報**

作業データ名: CAD1

登録者名:

**!** [実行]後、UNDOはクリアされます。

< 戻る(B) **8** 実行(E) キャンセル



TREND-ONE

**i** 同期が終了しました。

※同期した時間を書き込むため、作業終了時には、保存を行ってください。

**9** OK

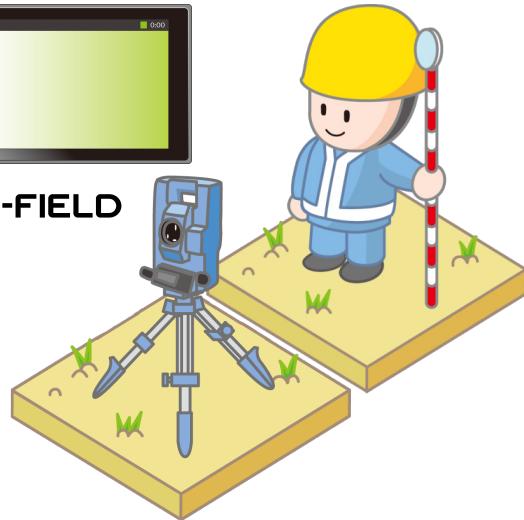
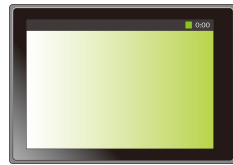
- 5** 現場データの情報を入力します。  
ここでは、現場名を入力します。
- 6** 作業データの情報を入力します。  
ここでは、作業データ名を入力します。
- 7** [次へ]をクリックします。

- 8** 現場データの情報、作業データの情報を確認して、[実行]をクリックします。

- 9** [OK]をクリックします。

# 3 現場作業

TREND-FIELDとCIMPHONYを連携して、ONEのデータを取り込み、現場作業を行います。



**現場作業**  
境界杭設置  
現場情報(観測データ、  
写真、音声など)の収集

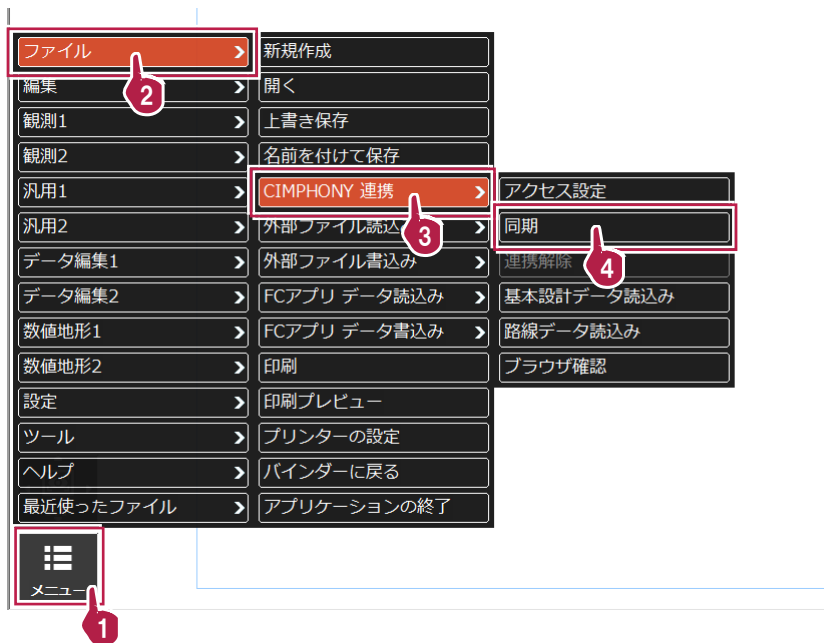
## 3-1 TREND-FIELD と CIMPHONY を連携する

TREND-FIELD と CIMPHONY を連携します。



Check

CIMPHONYを使用するときは、[ファイル]–[CIMPHONY連携]–[アクセス設定]をおこなってください。



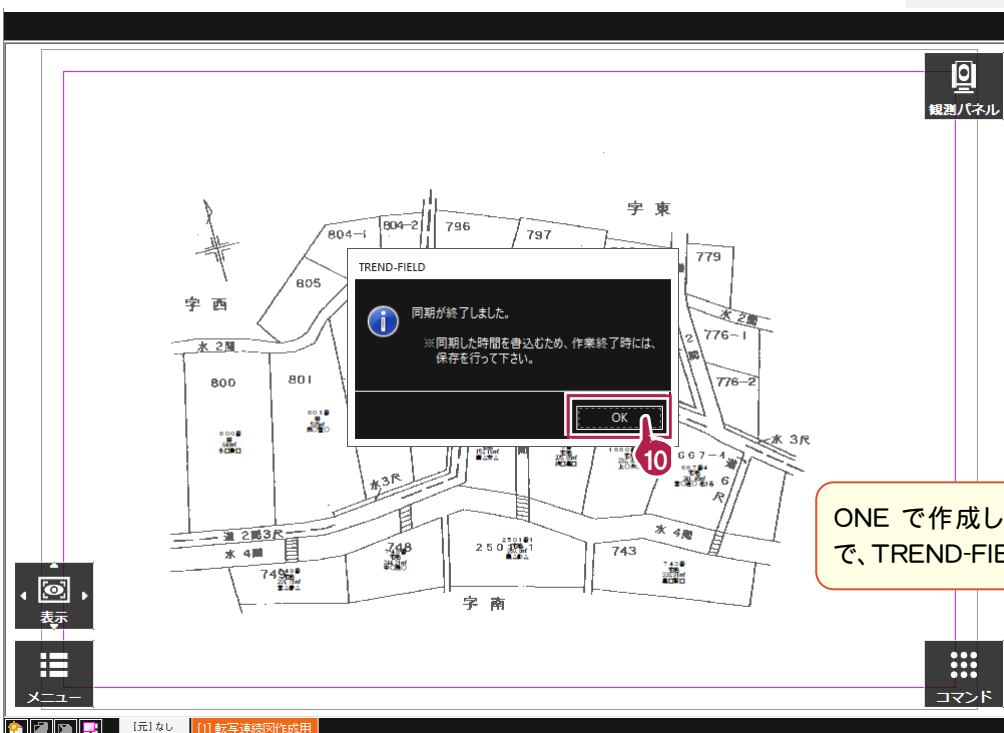


- 7 同期する作業データをタップします。
- 8 [次へ]をタップします。



- 9 同期する現場データの情報、作業データの情報を確認して、[実行]をタップします。

- 10 [OK]をタップします。

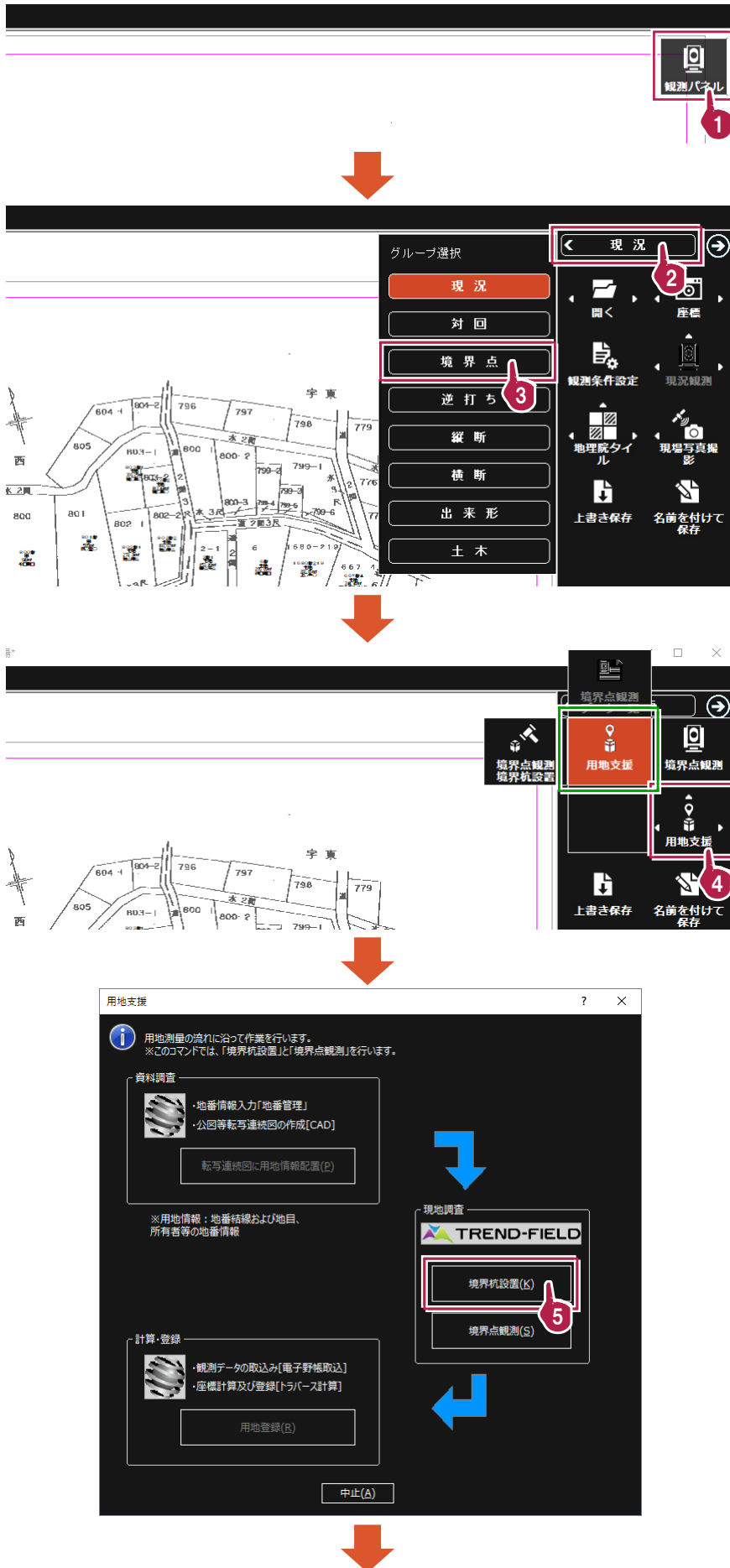


ONE で作成したデータがCIMPHONY連携で、TREND-FIELDに取り込まれます。



## 3-2 境界杭を設置する

境界杭を設置します。

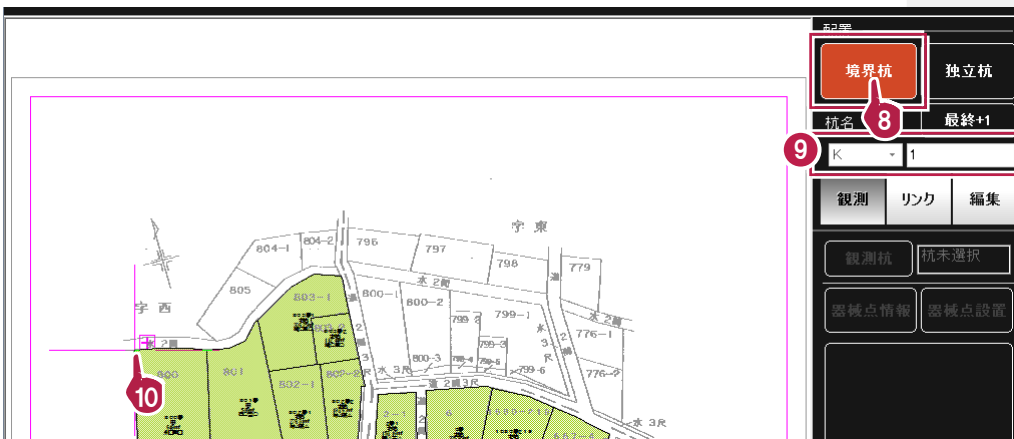




- 6** TSの接続先を選択します。ここでは[デモ]を選択します。

接続設定ダイアログを次回以降表示しない場合は、[次回以降表示しない]をオン、もしくは[観測条件設定]コマンドの[丸め・動作]タブで[毎回簡単接続を表示する]をオフにします。

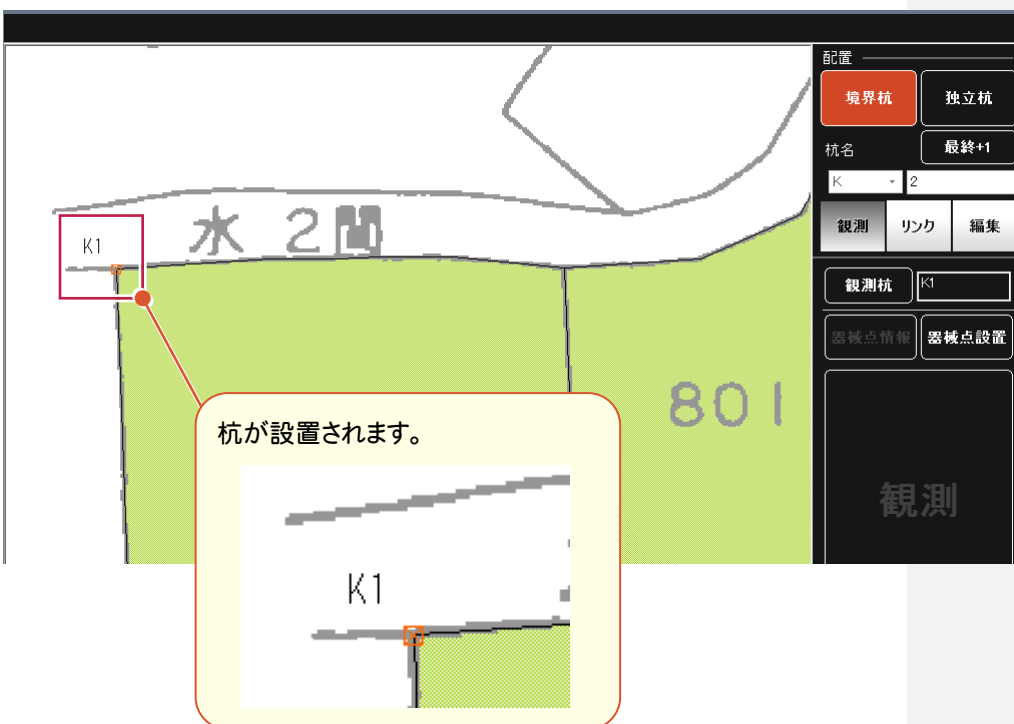
- 7** [OK]をタップします。



- 8** [境界杭]をタップします。

- 9** 杭名を入力します。

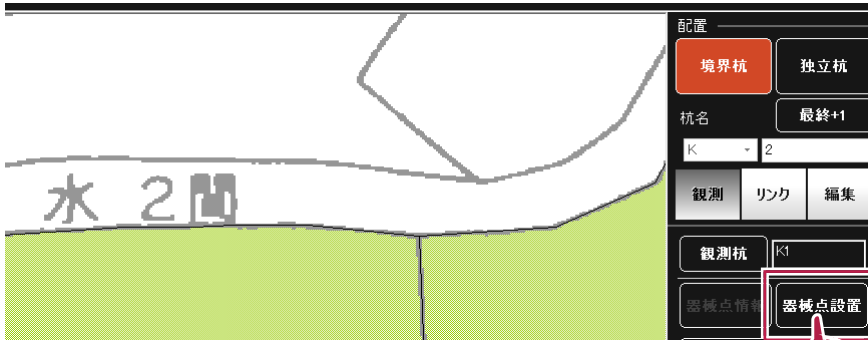
- 10** 境界杭の設置位置をタップします。



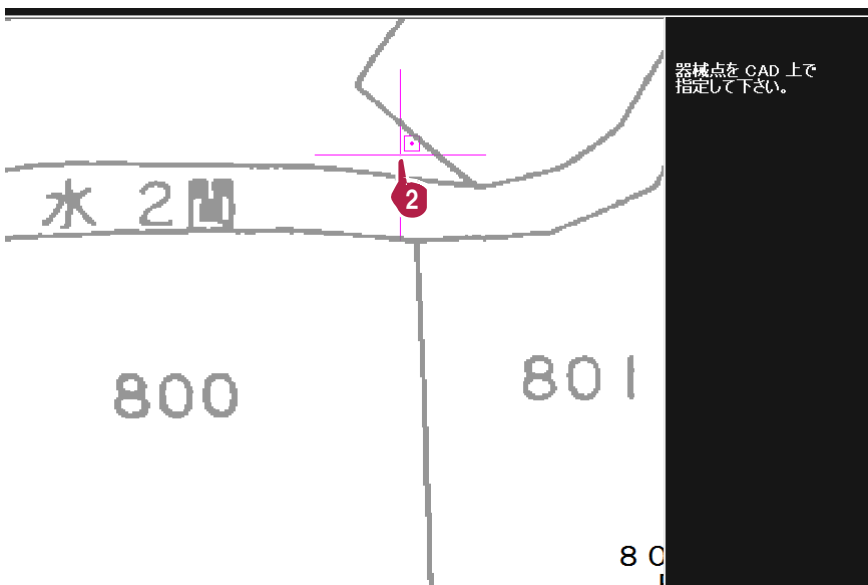
### 3-3 境界杭を観測する

設置した境界杭を観測します。

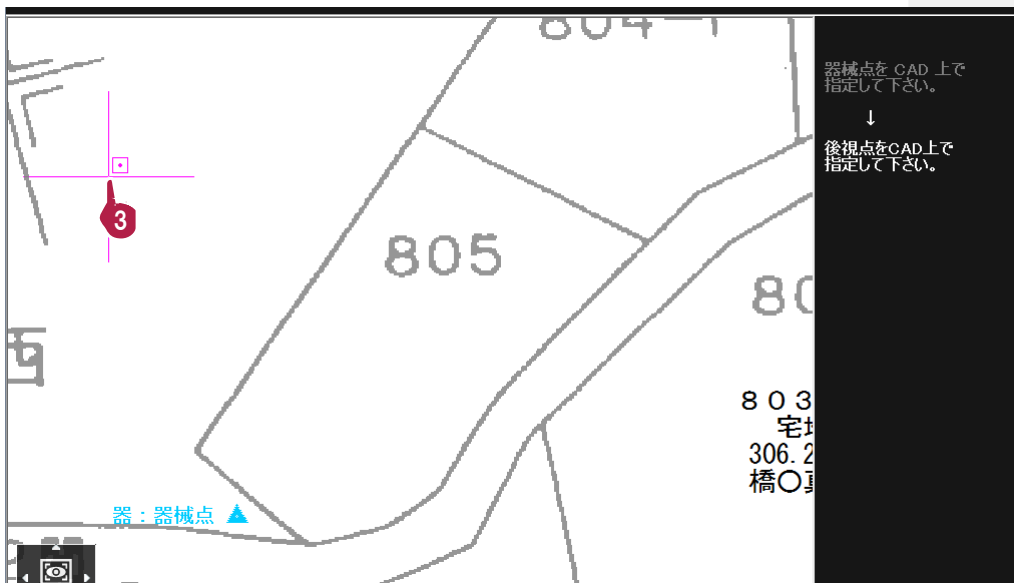
TREND-FIELDにTISを接続して観測を行うと観測値は自動で取り込まれます。



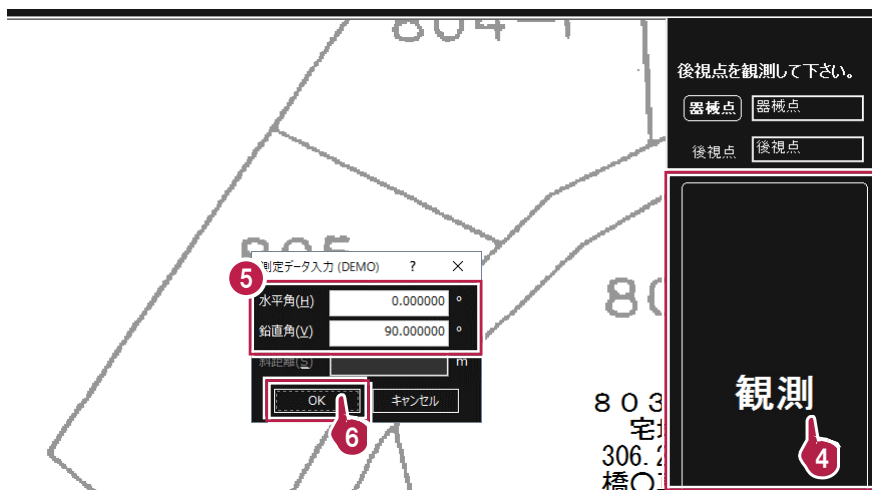
1 [器械点設置]をタップします。



2 器械点をタップします。



3 後視点をタップします。



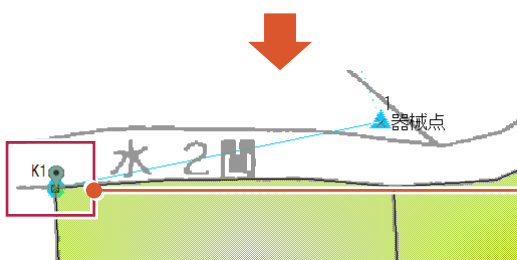
- 4 [観測]をタップします。
- 5 後視点の水平角、鉛直角を入力します。
- 6 [OK]をタップします。



- 7 [観測杭]をタップします。
- 8 観測する境界杭をタップします。



- 9 [観測]をタップします。
- 10 水平角、鉛直角、斜距離を入力します。
- 11 [OK]をタップします。



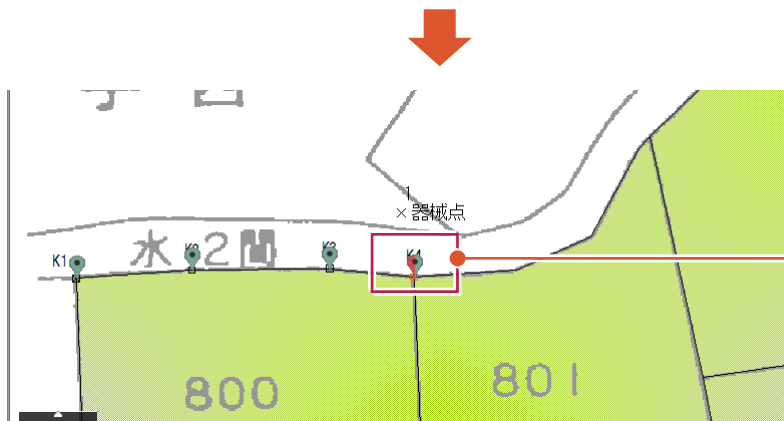
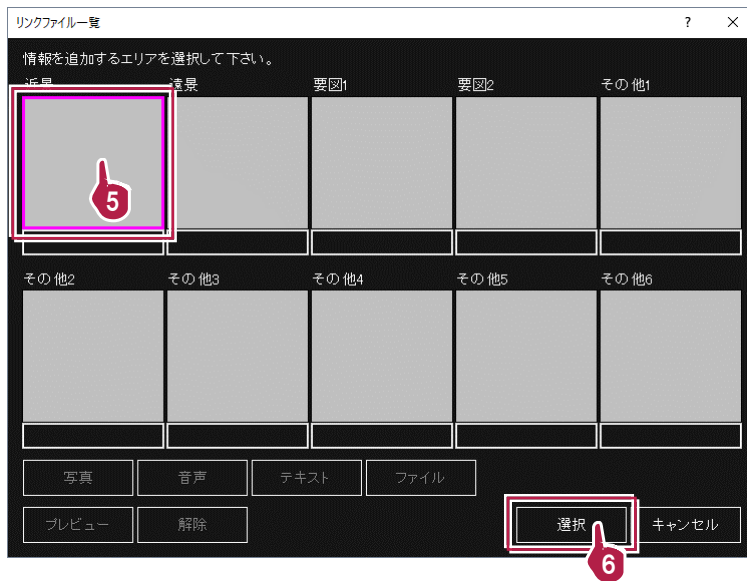
観測済みの杭には緑色のピンが表示されます。

## 3-4 写真を撮影する

写真を撮影します。(コンピュータにカメラ機能がある場合に有効です。)  
本書では、設置・観測済みの杭「K4」の写真を撮影する操作を解説します。



4 カメラで写真を撮影して、登録します。



リンク情報が追加された杭のピンは赤色で表示されます。  
観測済みの杭のピンは緑と赤で表示されます。



- 1 [リンク]をタップします。
- 2 [リンク対象]で「K4」を選択します。
- 3 [写真]をタップします。
- 4 写真を撮影して、登録します。
- 5 写真を追加するエリアをタップします。
- 6 [選択]をタップします。

## 3-5 音声を録音する

音声を録音します。(コンピュータに録音機能がある場合に有効です。)  
本書では、設置・観測済みの杭「K4」に音声を録音する操作を解説します。

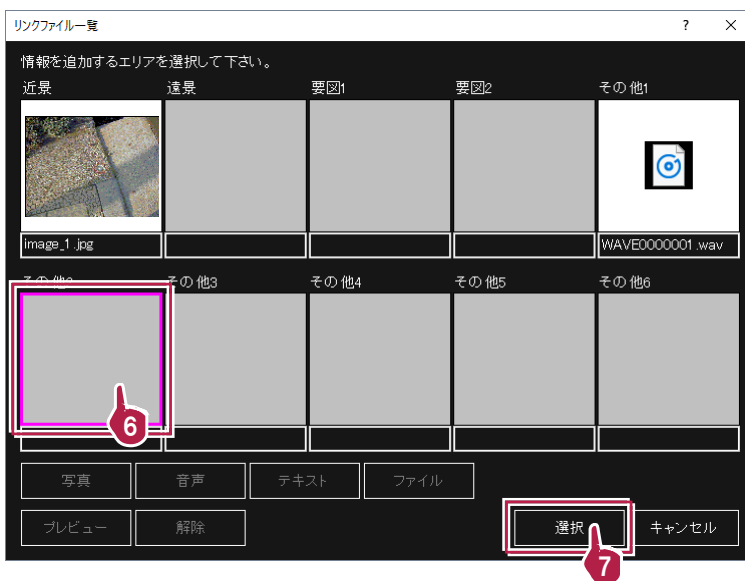
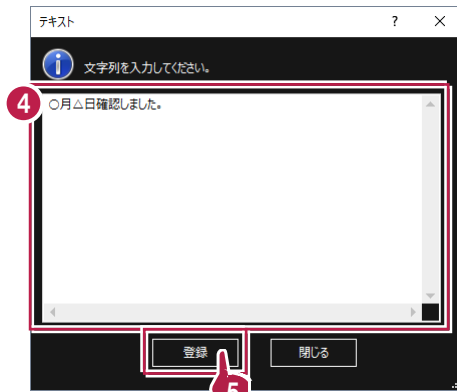


- 1 [リンク]をタップします。
- 2 [リンク対象]で「K4」を選択します。
- 3 [音声]をタップします。
- 4 [録音]をタップします。
- 5 [停止]をタップします。
- 6 [登録]をタップします。
- 7 音声を追加するエリアをタップします。
- 8 [選択]をタップします。

## 3-6 メモ書きを入力する

メモ書きを入力します。

本書では、設置・観測済みの杭「K4」にメモ書きを入力する操作を解説します。



- 1 [リンク]をタップします。
- 2 [リンク対象]で「K4」を選択します。
- 3 [テキスト]をタップします。
- 4 メモ書きを入力します。
- 5 [登録]をタップします。
- 6 メモ書きを登録するエリアをタップします。
- 7 [選択]をタップします。

## 3-7 他の境界杭設置・観測する

同様に、他の境界杭を設置して、観測します。



- 1 同様に、他の境界杭を設置して、観測します。
- 2 作業を完了したら、[終了]をタップします。

メモ

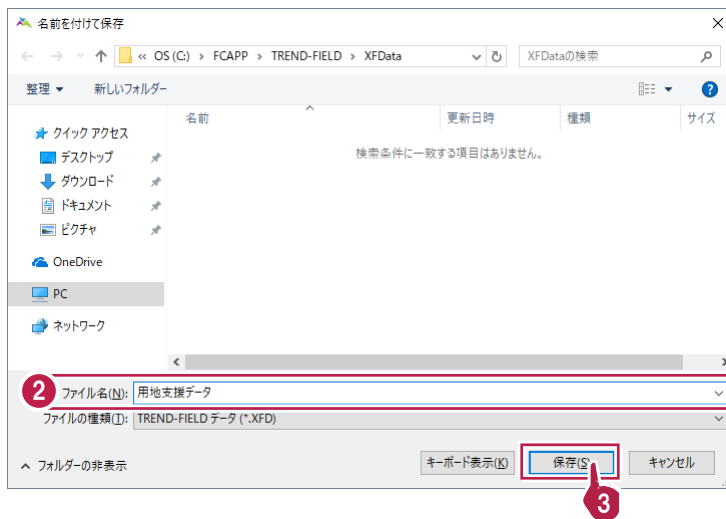
[独立杭]とは地番を構成しない杭で任意の位置に設置可能です。隣接する道路の一部など境界以外に測定したい点がある場合は、[独立杭]を使用してください。

- 3 次の手順を確認して[終了]をタップします。



## 3-8 データを保存する

データを保存します。



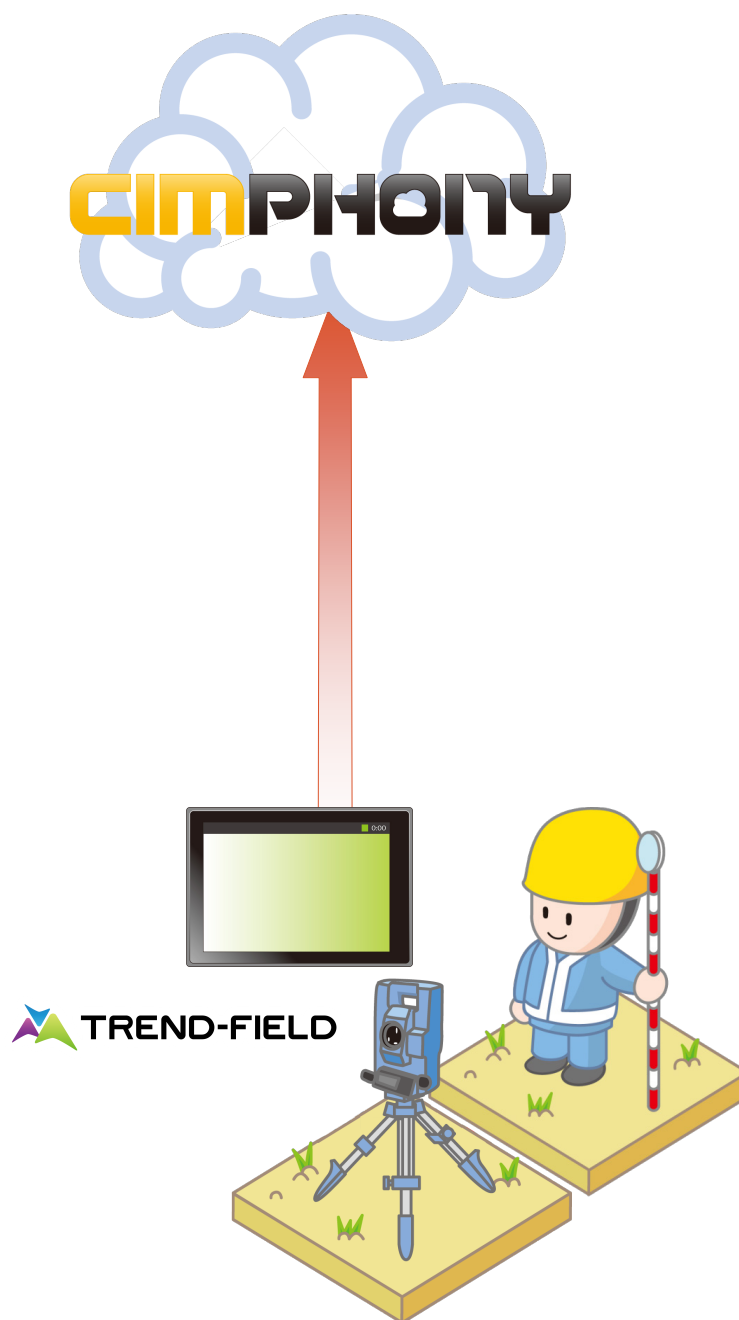
1 [名前を付けて保存]をタップします。

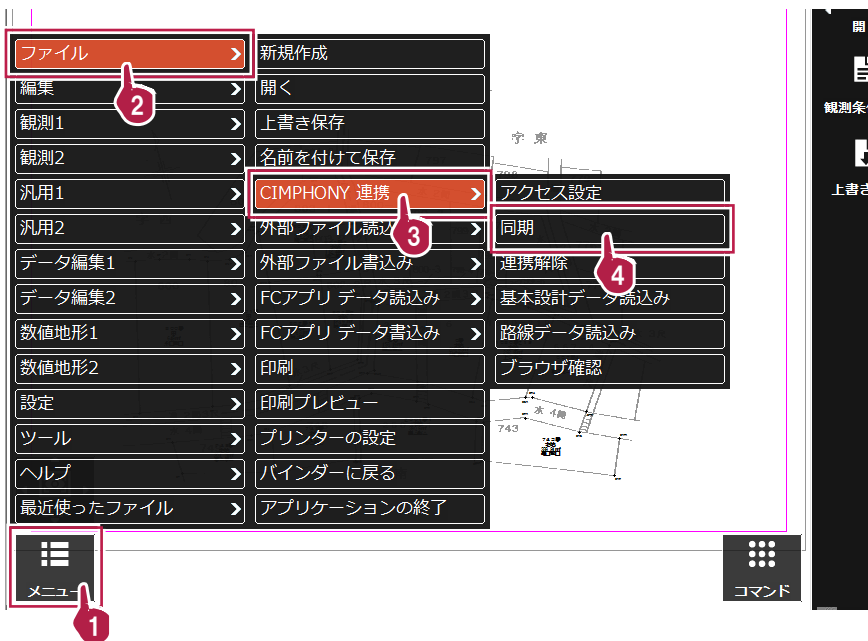
2 ファイル名を入力します。

3 [保存]をタップします。

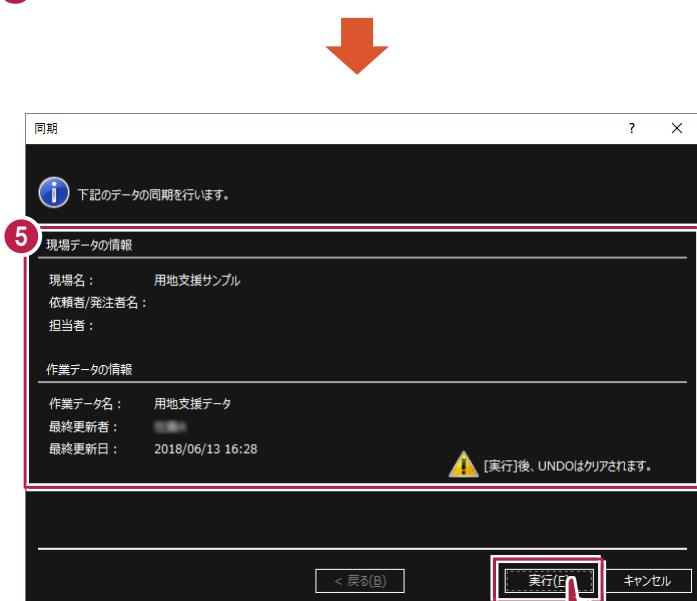
### 3-9 TREND-FIELD と CIMPHONY のデータを同期する

TREND-FIELD と CIMPHONY のデータを同期します。





- 1 [メニュー]をタップします。
- 2 [ファイル]をタップします。
- 3 [CIMPHONY連携]をタップします。
- 4 [同期]をタップします。



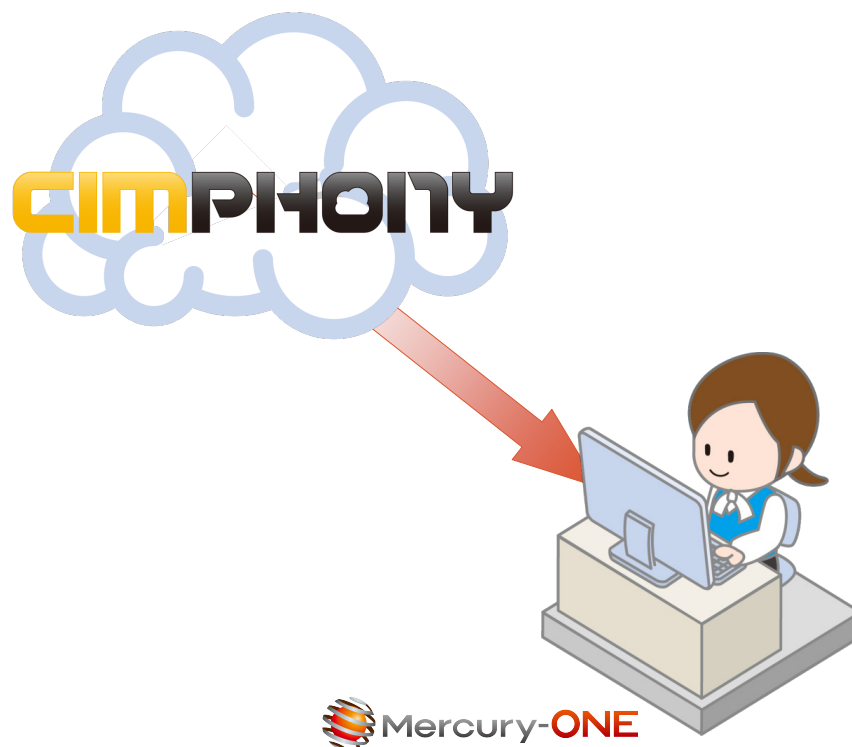
- 5 同期を行う現場データの情報、作業データの情報を確認します。
- 6 [実行]をタップします。



- 7 [OK]をタップします。

# 4 成果作成

ONEとCIMPHONYを連携して、TREND-FIELDのデータを取り込み、成果を作成します。

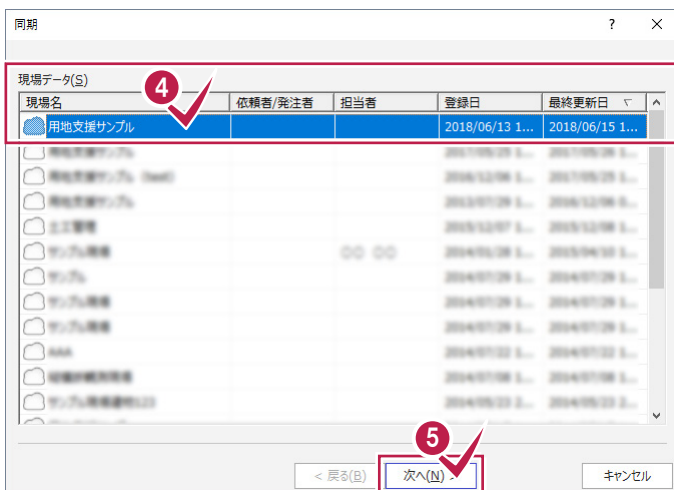
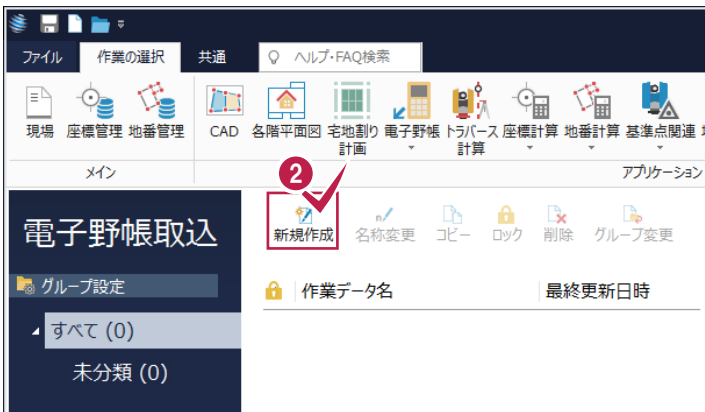


## 成果作成

座標化、地番作成  
点の記作成  
用地実測図の作成

## 4-1 CIMPHONY から TREND-FIELD の観測データを取り込む

CIMPHONYからTREND-FIELDの観測データを取り込みます。



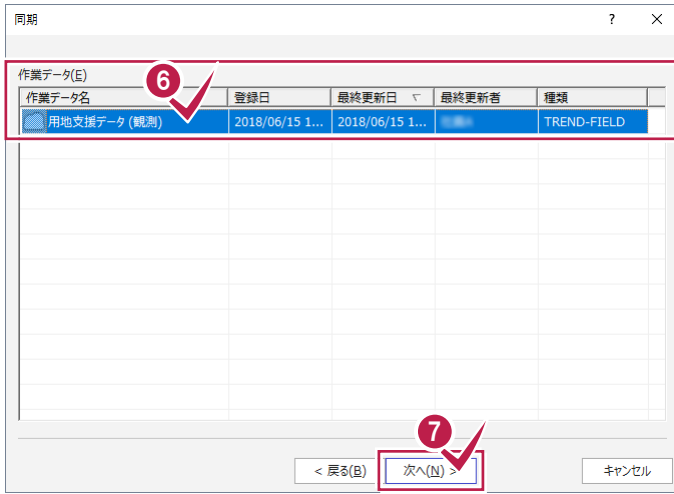
1 [作業の選択]タブー  
[アプリケーション]グループー  
[電子野帳]ー[電子野帳取込]を  
クリックします。

2 [新規作成]をクリックします。

3 [CIMPHONY]をクリックします。

4 同期する現場データを選択します。

5 [次へ]をクリックします。



6 同期する作業データを選択します。

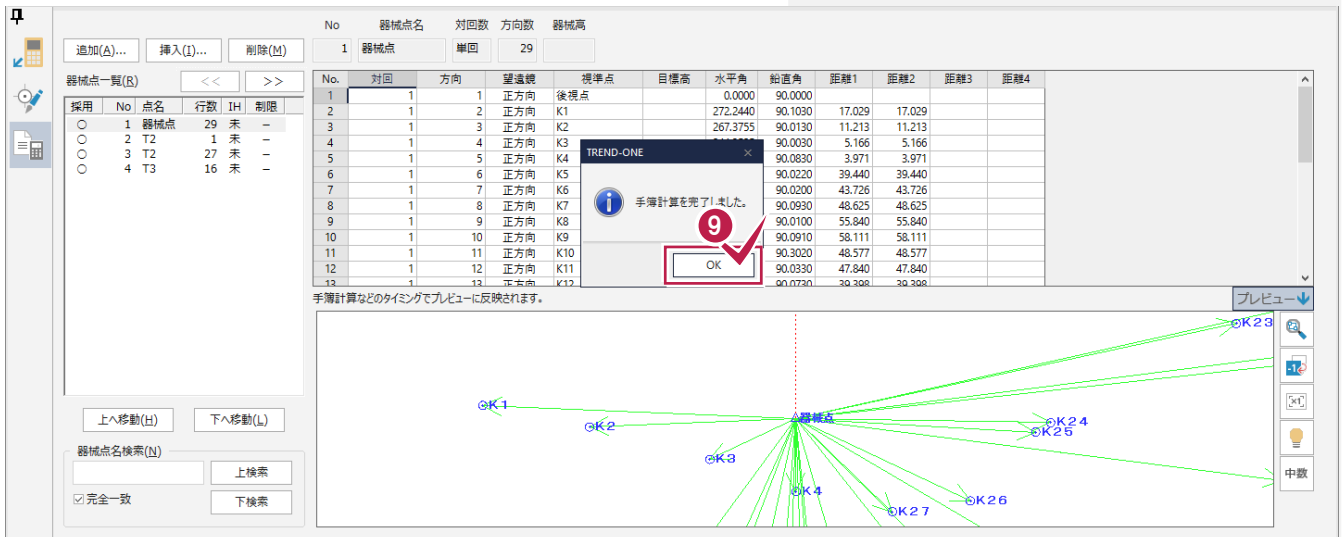
7 [次へ]をクリックします。



8 同期する現場データの情報、作業データの情報を確認して[実行]をクリックします。



9 [OK]をクリックします。



## 4-2 トラバース計算をする

トラバース計算をします。

No.	対回	方向	望遠鏡	視準点	目標高	水平角	鉛直角	距離1
1	1	1	正方向	後視点		0.0000	90.0000	
2	1	2	正方向	K1		272.2440	90.1030	17.029
3	1	3	正方向	K2		267.3755	90.0130	11.213
4	1	4	正方向	K3		244.3525	90.0030	5.166
5	1	5	正方向	K4		179.4055	90.0830	3.971
6	1	6	正方向	K5		192.0955	90.0220	39.440
7	1	7	正方向	K6		216.1125	90.0200	43.726
8	1	8	正方向	K7		204.2115	90.0930	48.625
9	1	9	正方向	K8		200.4725	90.0100	55.840
10	1	10	正方向	K9		178.0220	90.0910	58.111
11	1	11	正方向	K10		175.2015	90.3020	48.577
12	1	12	正方向	K11		181.3740	90.0330	47.840
13	1	13	正方向	K12		184.2425	90.0720	39.398

- 1 [手簿データ]タブ  
[データ書込み]グループ  
[トラバース計算に移動]をクリックします。

- 2 確認のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。

- 3 [OK]をクリックします。

No.	器械点変更	器械点名	器械高	視準点名	目標高	水平角	斜距離	高度角	器械点標高	器械点標高
	野帳データ	器械点		後視点		0.0000		0.0000		
	野帳データ	器械点		K1		272.2440	17.029	-0.1030		
	野帳データ	器械点		K2		267.3755	11.213	-0.0130		
	野帳データ	器械点		K3		244.3525	5.166	-0.0030		
	野帳データ	器械点		K4		179.4055	3.971	-0.0830		
	野帳データ	器械点		K5		192.0955	39.440	-0.0220		
	野帳データ	器械点		K6		216.1125	43.726	-0.0200		
	野帳データ	器械点		K7		204.2115	48.625	-0.0930		
	野帳データ	器械点		K8		200.4725	55.840	-0.0100		
	野帳データ	器械点		K9		178.0220	58.111	-0.0910		
	野帳データ	器械点		K10		175.2015	48.577	-0.3020		
	野帳データ	器械点		K11		181.3740	47.840	-0.0330		
	野帳データ	器械点		K12		184.2425	39.398	-0.0730		
	野帳データ	器械点		K13		174.2645	40.307	-0.0800		
	野帳データ	器械点		K14		174.1500	39.367	-0.0620		
	野帳データ	器械点		K15		163.5110	40.102	-0.0410		
	野帳データ	器械点		K16		134.5515	18.571	-0.2740		
	野帳データ	器械点		K17		120.2635	28.838	-0.0230		
	野帳データ	器械点		K18		97.1520	26.665	-0.1240		
	野帳データ	器械点		K19		97.1700	36.095	-0.3020		
	野帳データ	器械点		K20		83.4315	36.571	-0.4210		

4 [観測データ]ステージをクリックします。

初期設定 (トラバース計算 - 設定)

路線名(R) ( )

5 標高計算  
 2次元(2)  
 3次元(3)

距離入力形式  
 斜距離(Q)  
 水平距離(L)

初点方向角  
 出射角(Q)  入射角(Q)

水平角の計算  
 夾角(Y)  方向角(D)

モード  
 放射 開放 閉合 結合 (取付なし) 結合 (後視・取付なし)

閉合差制限(S) なし

制限他入力(Z)  
 20 [秒] + 45 [秒]√n  
 10 [mm] + 10 [mm]√N±S

6 次へ(N) >

5 標高計算、距離入力形式、初点方向角、モードを設定します。

6 [次へ]をクリックします。

初期設定 (トラバース計算 - 開放)

7 初点  
 点番(O) 1 点名(D) 器械点 器械高(I)  
 既知点より(A) X(E) 0.000 仮の方向角(Q) [出射角]  
 Y(S) 0.000  
 Z(I)

初点後視点  
 点番(L) 点名(M) 後視点 方向角(Q) [出射角]  
 既知点より(K) X 0.0000  
 Y パーチカル(1) 後視距離(2) 目標高(3)  
 90.0000

結合点  
 点番(S) 点名(I)  
 X(U)  
 Y(V)  
 Z(W)

結合取付点  
 点番(Y) 点名(Z) 方向角(±) [出射角]  
 X  
 Y

路線を指定して入力(Q)

8 完了(E)

7 初点、初点後視点をを入力します。

8 [完了]をクリックします。



開始点番 ? ×

付け方(M)

全て連番

個別

主路線視準点番(I)

開放視準点番(Q)

放射視準点番(E)

既布視準点番(U)

**9**

**9** 開始点番を確認して、[OK]をクリックします。

初点,終点 計算モード: 開放 次元: 2次元 距離形式: 斜距離

点種	既知点番	既知点名	新点番	新点名	X座標	Y座標	Z座標	器械/目標高	方向角
初点			1	器械点	0.000	0.000			0.0000
後視点				後視点					
結合点									
取付点									

観測データ

No.	器械点番	器械点名	後視点番	後視点名	モード	視準点番	視準点名	観測角	パーキカル	距離
1					放射	2	K1	272.2440	90.1030	17.029
2					放射	3	K2	267.3755	90.0130	11.213
3					放射	4	K3	244.3525	90.0030	5.166
4					放射	5	K4	179.4055	90.0830	3.971
5					放射	6	K5	192.0955	90.0220	39.440
6					放射	7	K6	216.1125	90.0200	43.726
7					放射	8	K7	204.2115	90.0930	48.625
8					放射	9	K8	200.4725	90.0100	55.840
9					放射	10	K9	178.0220	90.0910	58.111
10					放射	11	K10	175.2015	90.3020	48.577
11					放射	12	K11	181.3740	90.0330	47.840
12					放射	13	K12	184.2425	90.0730	39.698
13					放射	14	K13	174.2645	90.0800	40.307
14					放射	15	K14	174.1500	90.0620	39.367
15					放射	16	K15	163.5110	90.0410	40.102
16					放射	17	K16	134.5515	90.2740	18.571
17					放射	18	K17	120.2635	90.0230	28.838
18					放射	19	K18	97.1520	90.1240	26.665
19					放射	20	K19	97.1700	90.3020	36.095
20					放射	21	K20	83.4315	90.4210	36.571

現場プロット

選択: 座標を指定してください X: 0.000 Y: 0.000

## 4-3 座標を登録する

座標を登録します。

ファイル 共通 セル 観測データ ヘルプ/FAQ検索

初期設定 路線指定入力 モード切り替え 器械点変更 点番変更 成果簿情報 一筆地測量情報 閉合差表示 電子納品 計算書作成 **登録**

設定 データ編集 精度確認 データ書込み 計算書 登録

**1**

**1** [観測データ]タブ-[登録]グループ-[登録]をクリックします。

トラス計算座標登録 ? ×

二次放射トラスの器械点における後視方向角(B)

夾角を累計  座標値から逆算

プロットマーク

放射点(E)

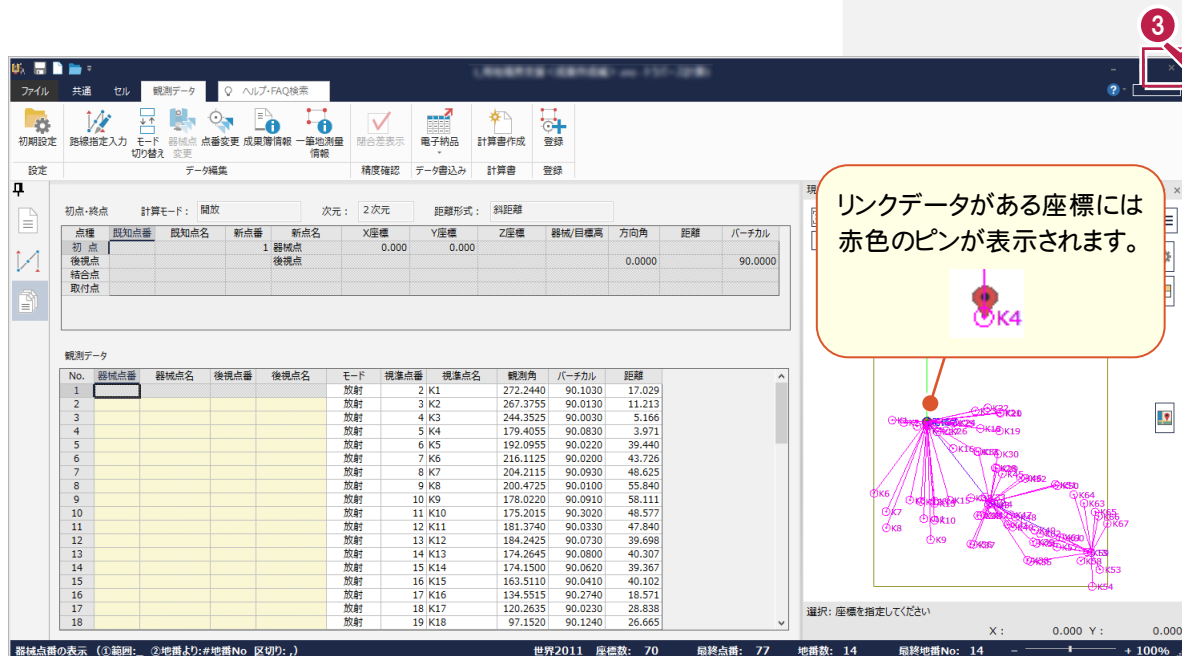
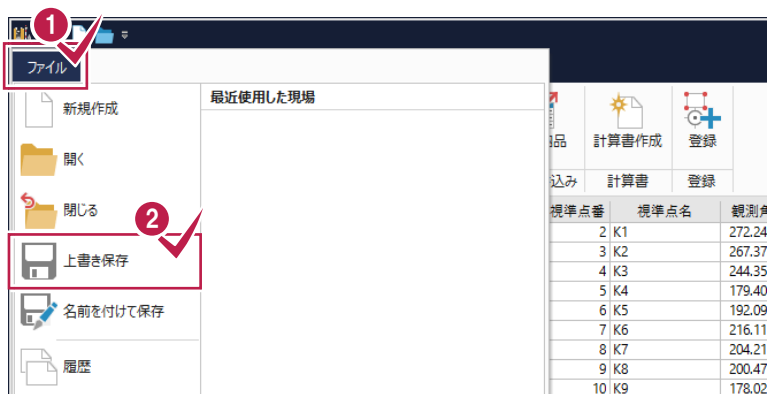
開放点(O)

**2**

**2** プロットマークを確認して、[OK]をクリックします。

## 4-4 データを保存する

データを保存します。



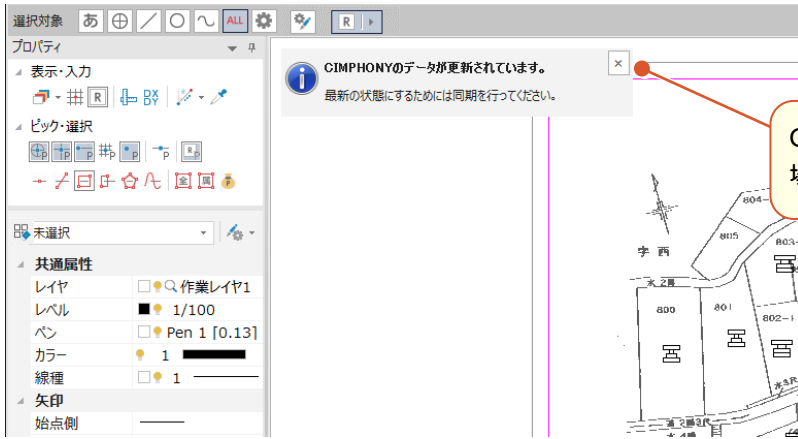
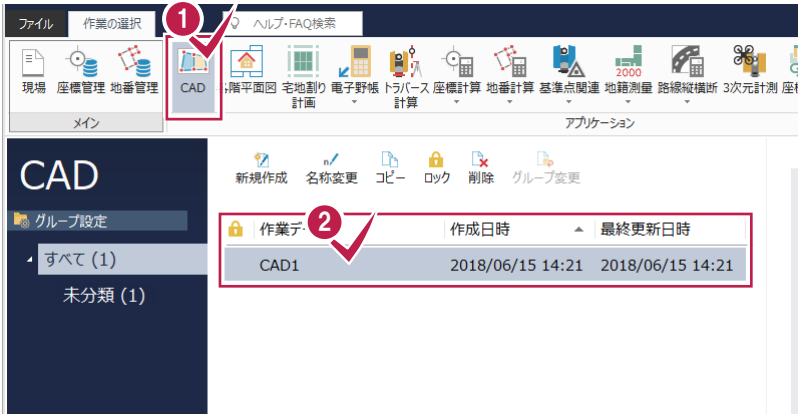
1 [ファイル]タブをクリックします。

2 [上書き保存]をクリックします。

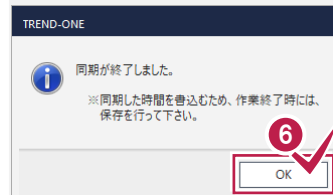
3 [閉じる]ボタンをクリックします。

## 4-5 CADとCIMPAPHONYのデータを同期する

CADとCIMPAPHONYのデータを同期します。



- 5 同期する現場データの情報、作業データの情報を確認して[実行]をクリックします。
- 6 [OK] をクリックします。



## 4-6 地番を作成する

取り込んだ座標と図面より地番を作成します。



1 [専用作用]タブをクリックします。

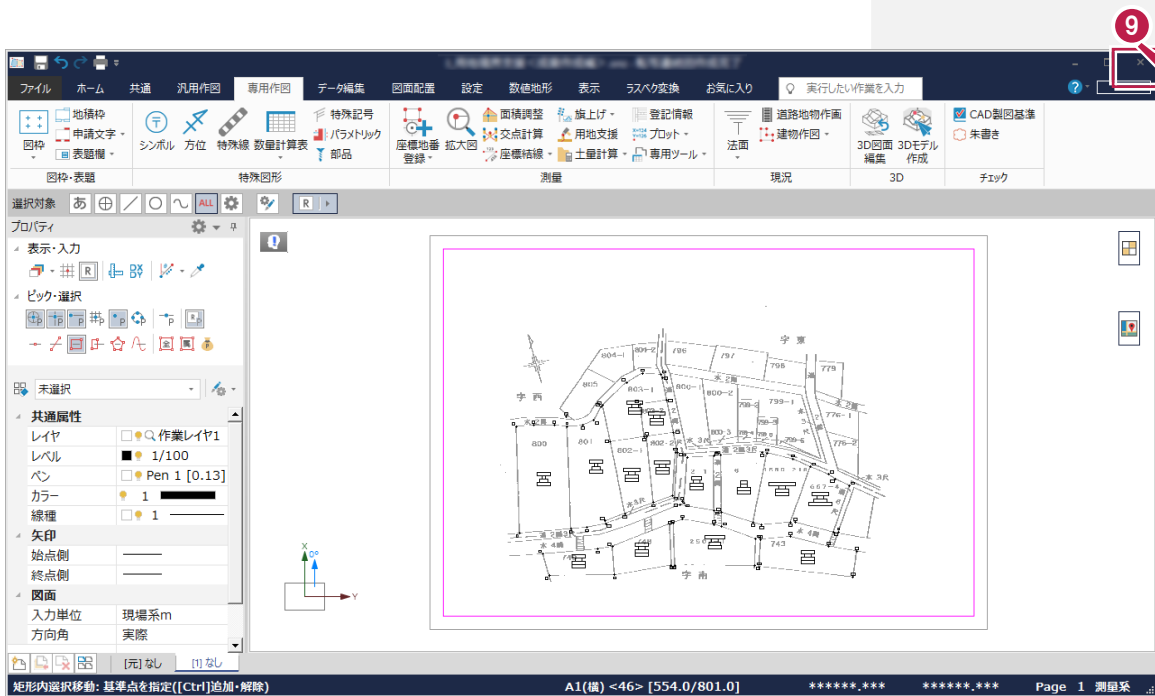
2 [測量]グループ-[用地支援]をクリックします。

3 [用地登録]をクリックします。

4 用地(塗り図形)の変化点で、境界点(杭)が配置されていない箇所がある場合は、確認のメッセージが表示されます。確認して[OK]をクリックします。

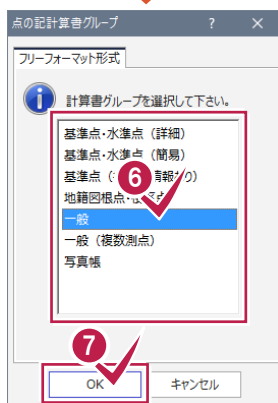
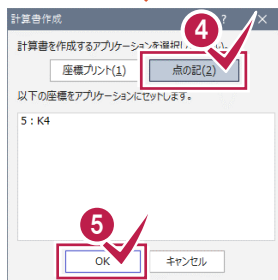
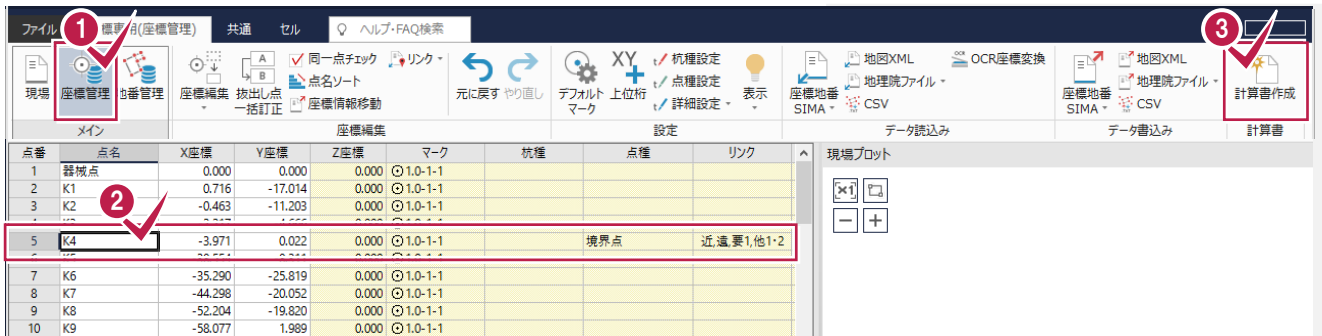


- 5 作成された地番を選択します。
- 6 CADで作成された地番を確認します。
- 7 ⑤⑥の操作を繰り返して、他の地番も確認します。確認を終了したら[地番登録]をクリックします。
- 8 [OK]をクリックします。
- 9 [閉じる]ボタンをクリックします。

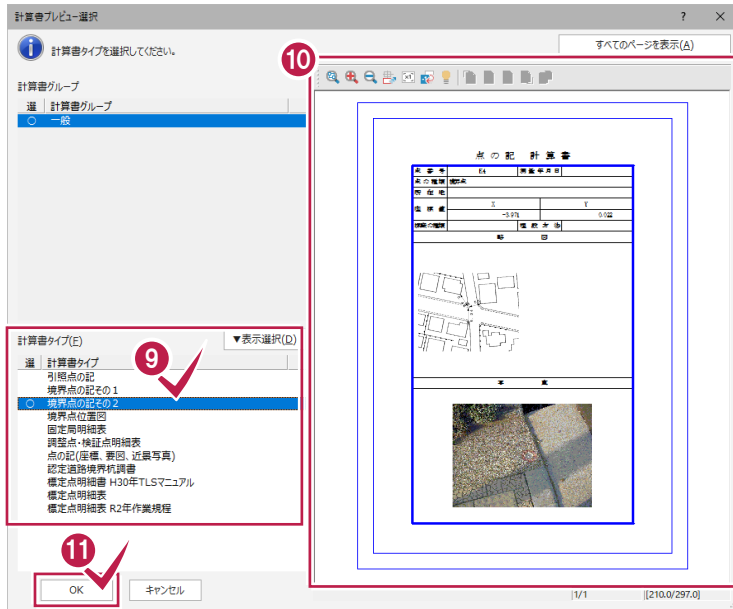


## 4-7 点の記を作成する

点の記を作成します。



- 1 [メイン]グループ-[座標管理]をクリックします。
- 2 点の記を作成する座標を選択します。
- 3 [計算書]グループ-[計算書作成]をクリックします。
- 4 [点の記]をクリックします。
- 5 [OK]をクリックします。
- 6 計算書グループを選択します。
- 7 [OK]をクリックします。
- 8 [プレビュー選択]をクリックします。



9 計算書タイプを選択します。

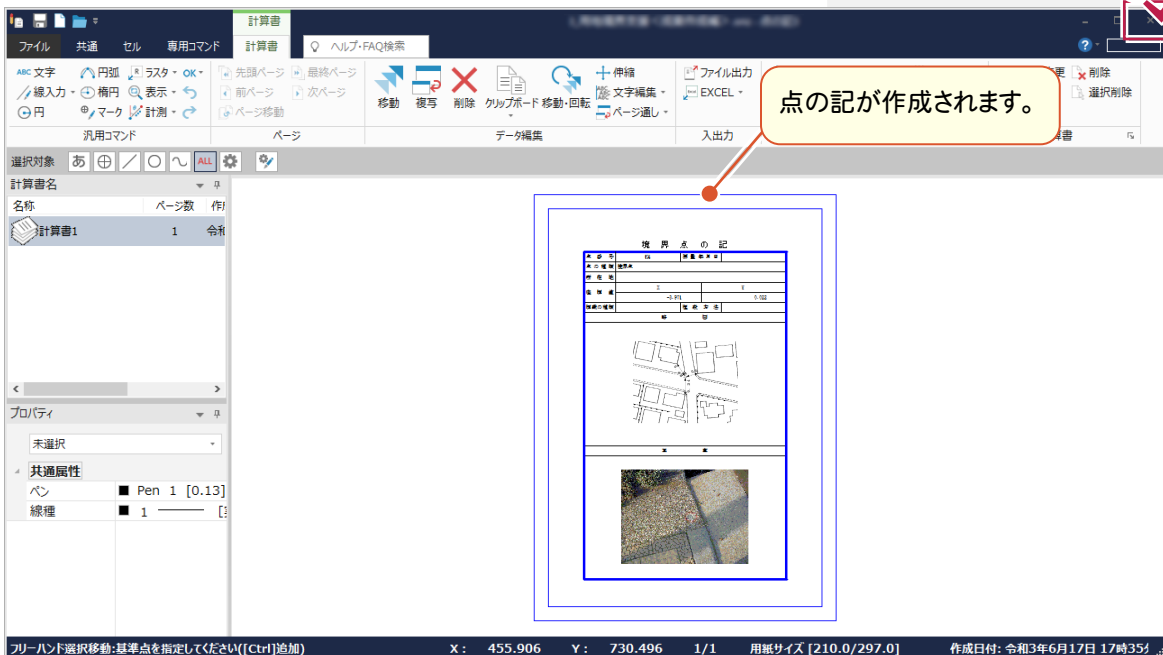
10 計算書のプレビューを確認します。

11 計算書タイプの選択を終了したら、[OK]をクリックします。



12 計算書名を入力します。

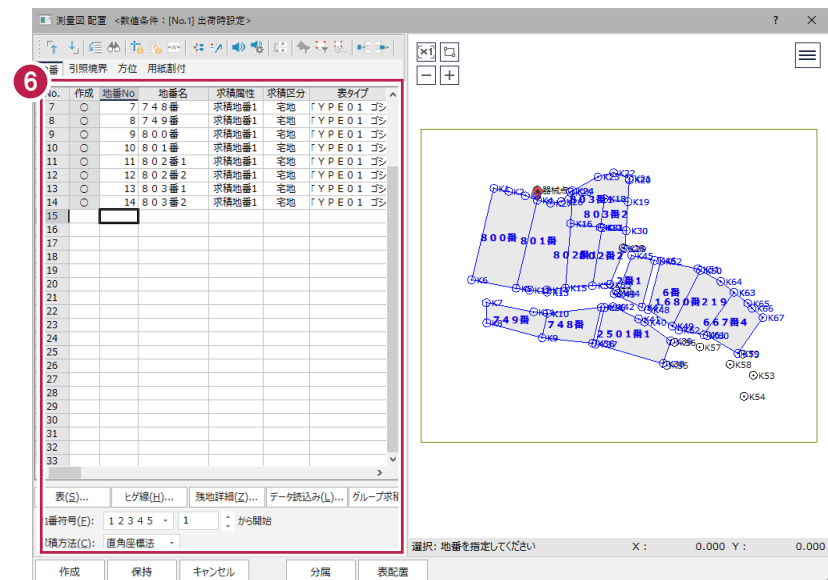
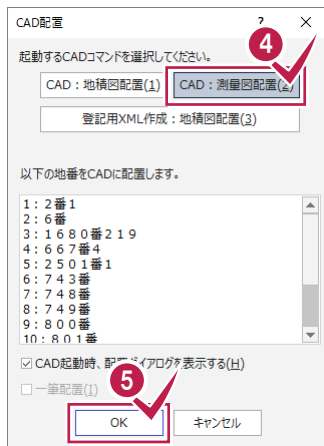
13 [OK]をクリックします。



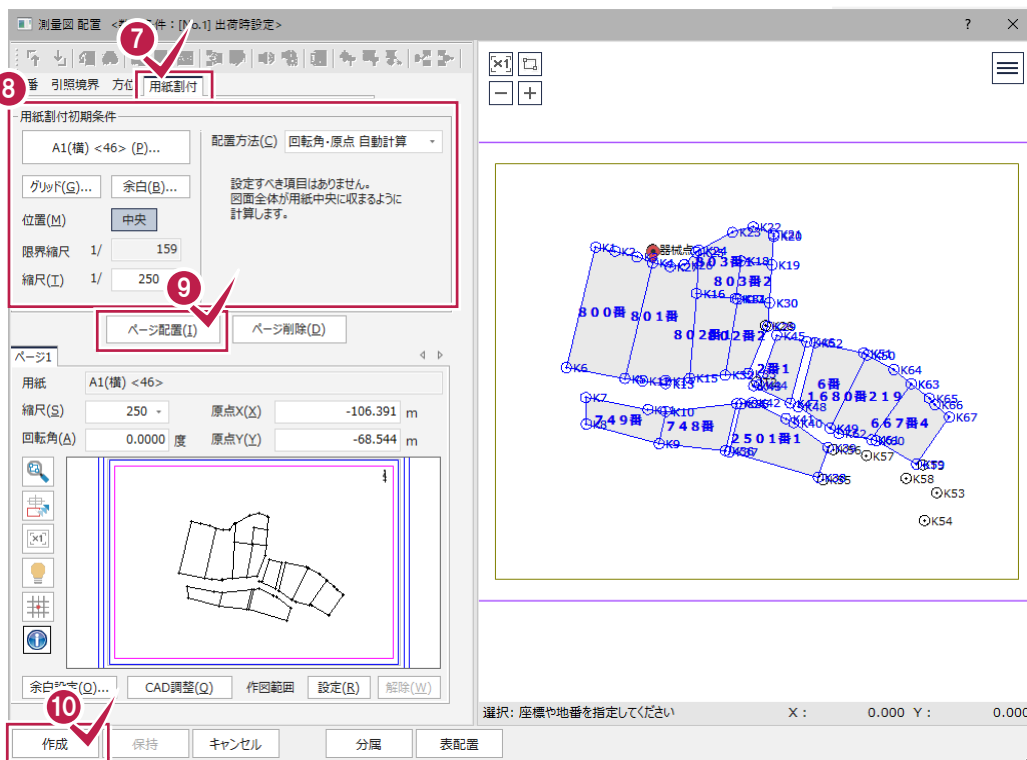
14 [閉じる] ボタンをクリックします。

## 4-8 用地実測図を作成する

用地実測図を作成します。







- 7 [用紙割付]をクリックします。
- 8 配置方法などを設定します。
- 9 [ページ配置]をクリックします。
- 10 [作成]をクリックします。



測量図が配置されます。  
続けて、求積表の配置位置を指定します。

